

令和元年 2018年度

第15回

通常総会議案

日時：令和元年9月28日（土）16時から
場所：船橋市中央公民館（船橋市本町2-2-5）



情報ステーション
www.infosta.org

第1号議案 第15期・2018年度事業報告について（※別紙参照）

第2号議案 第15期・2018年度収支決算について（※別紙参照）

第3号議案 第16期・2019年度事業計画について（※別紙参照）

第4号議案 第16期・2019年度収支予算について（※別紙参照）

第5号議案 役員改選について

【継続】代表理事 木村圭佑

副代表 加藤歩人

常任理事 高羽佳奈 中島圭介

理事 岩崎樹里 小関尚子 山口直樹 金子純 岡直樹

監事 青木剛志

【新任】理事 井東順一 佐藤紘孝 峯崎佳一 水沼秀幸

●経営評議員 佐竹賢治 安斎麻紀子 小島哲夫 成瀬麦彦 渡邊輝美
渡邊真央 廣瀬聡 山田玲子 大沢寛行 森隆志 横田孝子
浅田やよい 石津由美 岩城佳苗 前川英麿 岡直樹

情報ステーション 第15期・2018年度 事業報告

0. 概要と組織

「そこに住む人々が、自分の街に対して誇りと愛着を持ち、風土や歴史を元に、文化の創造と経済の自立を目指し続けること」と定義したまちづくりに資する事業に取り組み、多世代交流が自然と生まれる活動を継続的に広げている。

【目標に対する実績】

- コーポレートサイトのリニューアル
リニューアルは完了。これからコンテンツ増加予定。
- 正会員数120名の達成、法人会員10社の達成
正会員は80名弱、法人会員は7社で前期と変わらず横ばい
- 正会員オンライン入会の実施
現在、業者の審査待ちの状態。来期早々には完了予定。
- 会員のバリエーション増加の検討
会員バリエーションは増やさず、季刊誌のサポーター制度を新設した。

0-1. 理事会

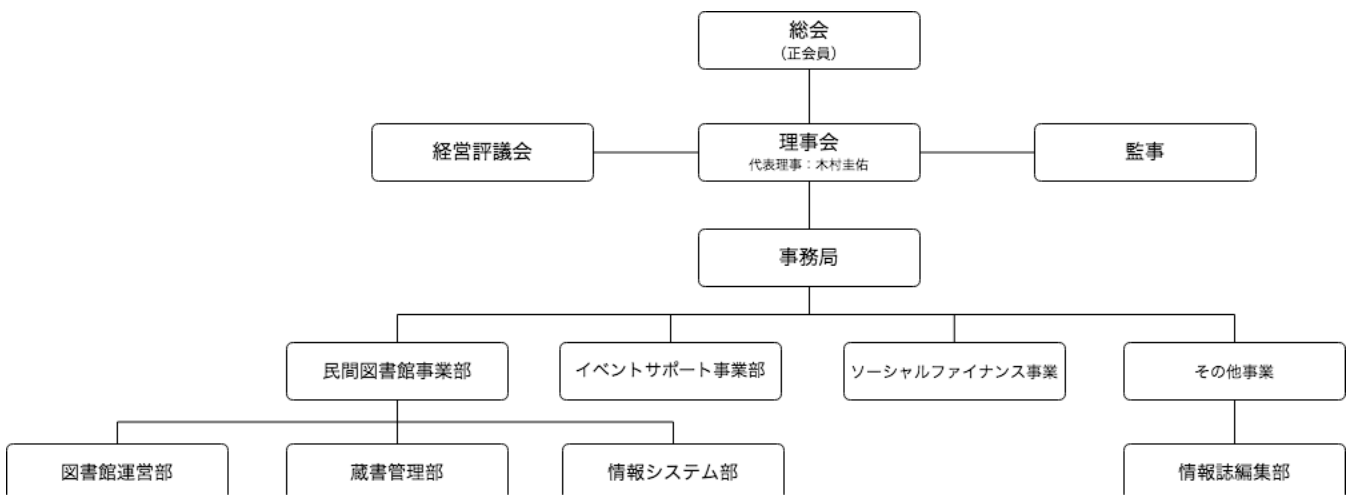
新たに3名の新任理事を迎え、機能的な理事会運営に取り組み営業や広報について議論を深めたほか、各理事に担当領域をつけ、意思決定スピードの向上や多様な考え方を取り入れた運営を実現し開かれたガバナンスを目指しました。

0-2. 経営評議会

理事及び監事経験者を中心として組織する経営評議会においては、年4回の会議にて情報ステーションの中長期にわたる事業活動を確認してきた。

特に15期においては、理事候補者の発掘のため評議会に候補者を招き、理念や事業活動について共有した。また理事会と共催でNPOの最重要事業である民間図書館事業の価値を再定義するための意見交換会を開催した。

【組織図】



【会議体】

会議名	参加者	頻度
総会	正会員、理事、監事	年1回
理事会	理事、監事	月1回
経営評議会	評議員、代表理事、副代表理事	年4回程度

0-2. 財務

入替えスタッフの外注化や、季刊誌の発行費用等でキャッシュフローが悪化しましたが、売掛金の整理や自動引落の登録など改善に努力しました。

0-2-1. 助成金

民間図書館の空き家活用の事例を作るために、14 期に採択された国土交通省の空き家対策の担い手強化・連携モデル事業を行いました。

1. 民間図書館事業

民間図書館事業では、地域の交流空間というコンセプトを実現するため、地域の方とのつながりを増やし、またボランティアなどに関わってくれる方々の更なる活動への参加促進を目指しました。

そのためにイベント形式でだれでも気軽に参加できるボランティア DAY を定期的に行い、告知や集客方法や開催後の活動報告の業務フローを確立しました。

1-1. 図書館運営部

図書館運営部は、ボランティアのみで運営する既存館のマネージメント、既存協働館の本棚の管理、新規図書館の開設を担当しました。

【目標に対する実績】

- 図書館を延べ120館に増やす。

新規開設は7館行い、延べ館数は99館に留まった。

- Webからの問合せ件数月間10件

問い合わせは5件。Facebook 広告を出稿したがあまり相性が良くなく他媒体も活用することを検討を進める。

- 交流会等への参加（登壇）で、年間30回のPR活動を行う

交流会等への参加は10回に留まった。交流会などの情報収集不足が要因。

- クラウドファンディングを利用した図書館フローの確立

クラウドファンディングを活用する案件がなく実施できず。

- 民間図書館の価値を再定義する。

再定義に向けて意見交換会を行いました。

- 空き家を活用した図書館モデルを作る。

「平成30年度空き家対策の担い手強化・連携モデル事業」にて「大宮台ひだまりと本の家図書館」を開設しました。

- 既存協働館の本棚の管理専任職員の採用と体制の構築。

専任職員の採用ではなく外注化し、安定的な体制を構築できた。



1-2. 蔵書管理部

蔵書管理部は、本の寄贈から登録・配架・移送・除籍・販売など蔵書流通のすべてを担当し、本の流通サイクルを常に動かせるようにしました。

ボランティアDAYを定期的を開催し、より多くのボランティアに参加してもらう事ができた。

【目標に対する実績】

- 年間新規蔵書登録数 1万5千冊
年間の新規蔵書登録数は 10,123 冊。
- ボランティアDAYの週2回ペース開催を継続
週2回の開催は維持でき、リピーターも増えた。
- 助成金などを通して蔵書基地開設の検討
蔵書基地開設の検討は行ったが、最適な用地が見つからなかった。
- 書店、図書館、新聞社等との連携による寄贈本の強化
(株)図書館流通センター、(株)バリューブックスと連携ができた。
- 棚卸しの実施
船橋北口みらい図書館にて棚卸しを実施した。
- 古本市のパッケージ化
実施せず。

1-3. 情報システム部

情報システム部では、蔵書管理システム及び端末、またこれらの通信ネットワーク、蔵書検索サイト「図書館生活」などの開発・管理とこれらが持つ情報管理を担当しました。

1-3-1. 蔵書管理システム

蔵書管理システムでは、ボランティア用アプリとセルフ貸出しシステムの改善を進めました。また、各種データ入力の補助機能を向上させ、データの量と質を増やし、図書館の利用を促進する配架に活用できる基盤づくりを進めました。

【目標に対する実績】

- システムリニューアルの検討
図書館事業全体のオペレーションを見直し検討を進めている。
- 書誌データ(MARC)の整備
参照先を既存の物から国立国会図書館に変更した。
- モバイルアプリの実装
既製品のバーコードリーダーアプリを活用し、csv一括更新に対応した。
- 新規開設図書館の蔵書選定(蔵書最適化)システムのプロトタイプ実装
プロトタイプまでは至らなかったが、引き続き検討を進める。

1-3-2. 蔵書検索サイト「図書館生活」

図書館生活では「図書館をもっとたのしく便利に」の趣旨を実現するため、従来の蔵書検索機能の他に、図書館の情報発信機能を強化しコンテンツを増やす事により、各図書館の楽しさ・魅力が多くの人に伝わるようなサイト作りを目指しました。

【目標に対する実績】

- 民間図書館の価値の再定義と合わせてサイトのコンセプトやターゲットの再定義
民間図書館の価値について再定義しきれなかったため、実施できず。
- サイトのリニューアル
コンセプトやターゲットが定められなかったため、実施できず。

2. イベントサポート事業

イベントサポート事業では、地域のおまつりやイベント等の広報や事務局サポート、会場提供、ボランティアによる開催当日の運営支援などを担当しました。

【目標に対する実績】

- 会場貸出売上月間 10 万円達成
年間 20 万ほどの売上でとどまった。
- 情報発信支援部設立の検討
検討したが、リソースが足りないため延期。



3. ソーシャルファイナンス事業

地域経済の循環促進を目的とし、地域に特化したクラウドファンディングサイト「FAAVO千葉」の運営を引き続き行いました。

【目標に対する実績】

- 運営パートナー数を 10 に増やす。
パートナー誘致活動があまりできず、5パートナーに留まる。
- 年間プロジェクト達成金額 1000 万円
プロジェクト達成金額は、1,246,000 円だった。
- 起案相談会を年 6 回開催
千葉県産業支援センターとの連携でプロジェクト案件が多く回ってきたので、開催せず。
- 他媒体との連携強化
まいづれと連携

4. その他の事業

先の3事業と団体主旨の普及啓発を目的とし、フリーペーパーの発行など広報活動を行いました。

4-1. 情報紙編集部「季刊 情報ステーション」

全4回計 20,000 部のフリーペーパーを発行し、民間図書館のほか県内公立図書館や社会教育施設等での配布を行った。これにより多くの方に情報ステーションの事業や様々なまちづくりの活動を知ってもらうことができ、地域社会における多世代交流の重要性とまちづくりへの主体的な参加を啓発した。

【目標に対する実績】

- 10月秋月号、1月新春号、4月春風号、7月初夏号の4号で延べ3万部の配布を行う。協賛広告等の募集が難航し、支出を抑えるために半期で目標を下方修正し2万部を配布した。
- 広告やクラウドファンディングの収入で各号の製作費を捻出し、初夏号では赤字をなくす。思ったように収入が増えず、全号を通して赤字となった。



2018年度 活動計算書 (第15期)

2018年9月1日から2019年8月31日まで

NPO法人 情報ステーション

科目	金額(単位:円)				備考
	14期決算	15期予算	15期決算		
I 経常収益					
1 受取会費					
正会員受取会費(個人)	1,223,500	1,440,000	1,009,400		
正会員受取会費(法人)	630,000	1,200,000	600,000	1,609,400	
2 受取寄附金					
受取寄附金	313,585	100,000	487,441	487,441	FPサポーター含む
3 受取助成金等					
民間助成金	0	0	0		
公共補助金	0	0	794,608	794,608	
4 事業収益					
民間図書館に関する事業収益	9,732,903	14,550,000	10,358,912		
イベントサポートに関する事業収益	1,864,290	1,600,000	1,478,068		
ソーシャルファイナンスに関する事業収益	1,020,675	1,900,000	625,799		
その他、この法人の目的を達成するのに必要な事業収益	1,762,934	1,250,000	233,748	12,696,527	
5 その他収益					
受取利息	0	0	4	4	
経常収益計	16,547,887	22,040,000		15,587,980	
II 経常費用					
1 事業費					
(1)人件費					
給与	433,000	600,000	519,500		正社員給与1名分
雑給	688,337	1,200,000	1,200,600		非常勤職員2名分
法定福利費	0	138,000	139,858		
ボランティア活動費	1,281,500	1,350,000	647,000		
福利厚生費	129,106	120,000	6,390	2,513,348	
(2)その他経費					
外注費	1,092,183	1,550,000	3,417,270		
荷造運賃	424,942	320,000	167,981		
広告宣伝費	1,046,540	130,000	73,940		
旅費交通費	551,720	480,000	133,280		
通信費	750,795	522,000	644,616		
消耗品費	198,261	200,000	90,698		
水道光熱費	705,911	740,000	755,405		
新聞図書費	298,926	50,000	24,158		
支払手数料	2,087,860	3,528,000	2,238,142		
車両費	1,905,314	1,488,000	1,402,040		
地代家賃	3,375,916	3,516,000	3,410,076		
リース料	511,170	395,820	395,820		
印刷消耗品費	444,431	600,000	108,601		
支払利息	240,000	360,000	360,000		
租税公課	152,350	10,000	800		
貸倒損失	27,000	-	66,928		
予備費	0	202,180	0	13,289,755	
事業費計	16,345,262	17,500,000		15,803,103	
2 管理費					
(1)人件費					
役員報酬	1,800,000	1,800,000	1,800,000		役員3名分
法定福利費	383,887	276,000	268,322	2,068,322	2名分
(2)その他経費					
交際費	34,910	100,000	0		
会議費	344,593	350,000	210,898		
車両費	0	648,000	648,000		
諸会費	320,000	360,000	210,000		
租税公課	0	6,000	10,000	1,078,898	
管理費計	2,883,390	3,540,000		3,147,220	
経常費用計	19,228,652	21,040,000		18,950,323	
当期経常増減額	(2,680,765)	1,000,000		(3,362,343)	
III 経常外収益					
消費税還付	0	0	131,172	131,172	
IV 経常外費用					
雑損失	0	0	168,834	168,834	
税引前当期正味財産増減額	(2,680,765)	1,000,000		(3,400,005)	
法人税、住民税及び事業税	50,000	150,000		133,200	
当期正味財産増減額	(2,730,765)	850,000		(3,533,205)	
前期繰越正味財産額	(13,304,899)	(16,035,664)		(16,035,664)	
次期繰越正味財産額	(16,035,664)	(15,185,664)		(19,568,869)	

(法第28条第1項「前事業年度の計算書類(貸借対照表)」)

2018年度 貸借対照表 (第15期)

2019年8月31日 現在

NPO法人 情報ステーション

科目	金額(単位:円)				備考
	14期決算	15期決算			
I 資産の部					
1 流動資産					
現金預金	410,441	441,633			
未収金	1,503,394	1,565,891			
流動資産合計	1,913,835		2,007,524		
2 固定資産					
投資その他の資産					
敷金	1,351,896	1,351,896			
固定資産合計	1,351,896		1,351,896		
資産合計	3,265,731			3,359,420	
II 負債の部					
1 流動負債					
短期役員借入金	3,000,000	6,290,000			
未払い費用	1,233,270	1,570,187			
預り金	68,125	68,102			
流動負債合計	4,301,395		7,928,289		
2 固定負債					
長期役員借入金	15,000,000	15,000,000			
固定負債合計	15,000,000		15,000,000		
負債合計	19,301,395			22,928,289	
III 正味財産の部					
前期繰越正味財産	(13,304,899)		(16,035,664)		
当期正味財産増減額	(2,730,765)		(3,533,205)		
正味財産合計	(16,035,664)			(19,568,869)	
負債及び正味財産合計	3,265,731			3,359,420	

(法第28条第1項「前事業年度の財産目録」)

2018年度 財産目録 (第15期)

2019年8月31日 現在

NPO法人 情報ステーション

科目	金額(単位:円)		備考
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
手元現金	87,559		
ゆうちょ銀行普通預金	0		
ゆうちょ銀行 郵便振替口座	2,000		
千葉銀行 普通預金	352,071		
三菱東京UFJ銀行 普通預金	3		
未収金			
民間図書館事業他売掛金	1,565,891		
流動資産合計		2,007,524	
2 固定資産			
投資その他の資産			
敷金 宮崎敏弘	450,000		船橋北口みらい図書館
敷金 パステルタウン	285,000		船橋本町通り街づくり図書館
敷金 UR都市機構	616,896		袖ヶ浦団地まいぶれ図書館
固定資産合計		1,351,896	
資産合計			3,359,420
II 負債の部			
1 流動負債			
短期役員借入金			
代表 木村圭佑	1,500,000		
副代表 加藤歩人	90,000		
理事 岡直樹	3,400,000		
理事 金子純	650,000		
評議員 成瀬麦彦	650,000		
未払い費用			
宮崎敏弘	465,000		船橋北口みらい図書館家賃
東京電力	30,776		
クロネコヤマト	7,130		
年金機構	67,281		
金子純	550,000		
その他	450,000		袖ヶ浦SC 佐田みそ 中島堂本舗など
預り金	68,102		社会保険料3名分
流動負債合計		7,928,289	
2 固定負債			
長期役員借入金			
代表理事 岡直樹	15,000,000		
固定負債合計	0	15,000,000	
負債合計			22,928,289
正味財産			(19,568,869)

情報ステーション 第16期・2019年度 事業計画（案）

0. 概要と組織

「そこに住む人々が、自分の街に対して誇りと愛着を持ち、風土や歴史を元に、文化の創造と経済の自立を目指し続けること」と定義したまちづくりに資する事業に取り組み、多世代交流が自然と生まれる活動を広げてまいります。

今期は、図書館の新規開設に力を入れて一つでも多く増やすことを目指します。

0-1-0. 理事会

理事会は、事業計画及び予算の策定とその予実管理、計画達成に向けた戦略決定、総会・活動報告会と忘年会などの交流会を担当します。

今期は、新任理事のフォローの為にチューター制を引き続き実施するほか、部門ごとの自律した運営を目指し、月例の理事会においては各担当理事が自部門の進捗について報告できる体制を目指します。また、理事会の開催にあたっては引き続き公開しオープンな運営に取り組むほか、議事録についても公開できるようにしていきます。

- 理事会の議事録を公開できるようにします。
- 新任理事のチューター制を継続して行います。
- 部門ごとに担当理事が理事会で報告できる体制を目指します。

0-2-0. 経営評議会

経営評議会は理事及び監事経験者を中心として組織し、年4回の会議にて中長期にわたる情報ステーションの事業発展を確認すると共に、理事及び事務局の活動を支援し、NPOのステークホルダーである地域社会を構成する多様な方々に対して、活動への参加・参画を促します。

特に16期においては、定款や規約などの整備と、理事候補者の発掘を重点事項とします。

- 経営評議会設置に関する規定を整備します。
- 情報ステーションの中長期ビジョンについて議論します。
- 5名の理事候補者を理事会に推薦します。

0-3-0. 財務

財務部門では、継続的かつ安定的に活動を実施するために、経費の削減に取り組みながら適正な経理事務を行います。寄付・会費収入と事業収入のバランスを保つと共に、理念や事業計画に合致する助成金があった際には応募を検討します。

今期は、民間図書館等の定期的な売り上げや会費について、自動振替の登録を進めるほか、寄付キャンペーンにて情報ステーションへの支援を呼びかけます。

- 自動振替の利用率を増やします。
- 寄付キャンペーンを行い支援者を増やします。

0-4-0. 会員

会員部門では、情報ステーションの理念や活動に賛同し、会員として参画してくれる方を増やします。

今期は、正会員および法人会員の増強に取り組み、会費収入が法人の運営基盤となるように努めていきます。また、定期的な郵送など情報ステーションからの各種案内を見直し、活動への参加を促したり事業の進捗や活動理念の共有に努める事で、会員の参画意識の向上につなげていきます。

- ・正会員100名、法人会員10社の体制を目指します。
- ・定期郵送の内容を見直し、情報ステーションの活動への参加を促します。

0-5-0. 事務局

事務局では、理事会の決定に基づき日々の運営をします。

今期は毎月郵送を続けながら郵送の質の向上を目指します。

0-6-0. 広報

広報部門では、コーポレートサイトの運営や取材への対応などと共に、各イベントについて情報サイトで告知をし、情報ステーションの活動を広く伝えます。

今年度は団体の理念や活動を伝えるための案内を作成し、会員増強や各種事業の活動で活用し、団体の発展に役立てます。

- ・情報ステーションのパンフレットを作成します。

1. 民間図書館事業

民間図書館事業では、地域の交流空間というコンセプトを実現するため、地域の方々のつながりを増やし、また新規開設や受付・配架などのボランティアに関わってくれる方々の更なる活動への参加促進を目指します。

その為に、図書館数をはじめ、ボランティア、本の寄贈者、利用者、代理店などを全体的に増やしていきます。

1-1-0. 図書館運営部

民間図書館事業図書館運営部は、ボランティアのみで運営する直営館のマネジメント、既存協働館の本棚の管理、新規図書館の開設や図書館利用会員証の管理を担当します。

1-1-1. 新規図書館開設グループ

代理店制度を活用し、積極的にPRや営業活動を行うことで、新規図書館を増やします。

- ・年に延べ20館開館を目指します。
- ・イベント・交流会等の機会があれば積極的に活用し、広報・周知に努めます。
- ・空きスペースを活用した図書館モデルを作ります。
- ・新規図書館開館に資する民間図書館設置メリットを明確化します。

1-1-2. 協働図書館管理グループ

協働図書館管理グループでは、定期的な蔵書の入替や本棚の整理、SNS などでの広報を主に、図書館が多くの方に利用していただける様に提携企業等と協働して民間図書館の管理運営を行います。

- ・体制の強化にむけてボランティア DAY を実施します。
- ・情報発信内容の充実をはかります。
- ・既存協働館の利用満足度調査を実施します。
- ・小規模館の収益向上手段多様化を検討します。

1-1-3. 直営図書館運営グループ

直営図書館運営グループでは、民間図書館の運営モデルとなり、蔵書流通における地域の中核館である、ふなばし駅前図書館(休館中)・船橋北口みらい図書館・袖ヶ浦団地まいぷれ図書館・ちばぎんざ図書館(2019/12 閉館予定)・船橋本町通り街づくり図書館の5館の運営を行います。

第16期においては各館ごとの運営目標を実現するとともに、民間図書館の新たな価値を発掘し地域社会における役割を広げていきたいと思っております。また、全体的な収支の改善に取り組みます。

- ・ふなばし駅前図書館では、公民連携モデルである返却ポスト管理を継続し、再開を検討します。
- ・船橋北口みらい図書館では、時間利用を増やし収支を改善すると共に、窓口ボランティアの増員に取り組みます。
- ・ちばぎんざ図書館では時間利用を増やし収支改善に取り組みると共に、独立運営の可能性を検討します。

1-2-0. 蔵書管理部

民間図書館蔵書管理部は、本の寄贈から登録・配架・移送・除籍・販売など、蔵書流通の全てを担当します。本の流通サイクルを常に動かせるようにします。

現行のボランティア DAY 開催回数を維持するとともに、より多くのボランティアの参加を促します。寄贈本増加による支援者拡大に取り組み、みんなで作る図書館を体現します。

- ・年間新規蔵書登録冊数 2 万冊を目指します。
- ・システム改修による寄贈本仕分けを円滑化します。

1-3-0. 情報システム部

民間図書館事業情報システム部では、蔵書管理システム及び店頭端末、またこれらの通信ネットワーク、蔵書検索サイト「図書館生活」などの開発・管理とこれらが持つ情報管理すべてを担当します。

1-3-1. 蔵書管理システム

蔵書管理システムでは、ボランティア用管理システムとセルフ貸出システムを軸に、今年度も利便性向上を進めます。また、現システムの老朽化（2008 年頃から稼働）も進んでいることから、引き続きリニューアルに向けた検討を進めます。

- ・システムリニューアルに向けた検討をします。

1-3-2. 蔵書検索サイト「図書館生活」

情報システム部図書館生活部門では「図書館をもっとたのしく便利に」のキャッチコピーを実現するため、蔵書検索及び民間図書館の基本情報を提供するほか、facebookなどと連携し図書館の情報発信に努めます。

2. イベントサポート事業

イベントサポート事業は、多世代交流の創出の機会を提供し、地域の文化・経済に資する地域のおまつりやイベントなどのサポートをする事で、情報ステーションのまちづくり理念の実現を目指します。

本部門では、サポートするイベントの各種広報や運営を支援するほか、ボランティアによる開催当日の運営などを担当します。

16期は、ボランティアDAY開催のノウハウを活かし、サポートする各種団体の体制強化につながるような取り組みを検証していきます。

3. ソーシャルファイナンス事業

ソーシャルファイナンス事業部は地域経済の循環促進を目的とします。

今期は地域に特化したクラウドファンディングサイト「FAAVO千葉」の運営を引き続き行います。

- ・ 年間プロジェクト達成金額 500 万円を目指します。

4. その他の事業

その他の事業では、民間図書館・イベントサポート・ソーシャルファイナンス以外の情報ステーションの理念を達成するために必要な事業について実施すると共に、活動理念の普及啓発に取組みます。

4-1-0. 情報紙編集部「季刊 情報ステーション」

情報誌編集部では、フリーペーパーを季刊で発行し、民間図書館のほか千葉県内公立図書館や社会教育施設、書店等での配布を行い、一人でも多くの方に情報ステーションの事業や様々なまちづくりの活動を知ってもらうことで、地域社会における多世代交流の重要性とまちづくりへの主体的な参加を促します。

また、今期4回の発行の中で、協賛広告やクラウドファンディング、サポーター会費による収入を増やし、継続的に発行を続けられる体制を目指します。

- ・ 年に4回「季刊 情報ステーション」を発行し、2万部を配布します。
- ・ サポーターを募集し、100名の登録を目指します。

2019年度 活動予算書 (第16期)

2019年9月1日から2020年8月31日まで

NPO法人 情報ステーション

科目	金額(単位:円)				備考
	15期決算	15期予算	16期予算		
I 経常収益					
1 受取会費					
正会員受取会費(個人)	1,009,400	1,440,000	1,200,000		100名
正会員受取会費(法人)	600,000	1,200,000	1,200,000	2,400,000	10社
2 受取寄附金					
受取寄附金	487,441	100,000	700,000	700,000	
3 受取助成金等					
民間助成金	0	0			
公共補助金	794,608	0		0	
4 事業収益					
民間図書館に関する事業収益	10,358,912	14,550,000	12,518,000		図書館を20館新設
イベントサポートに関する事業収益	1,478,068	1,600,000	1,500,000		
ソーシャルファイナンスに関する事業収益	625,799	1,900,000	600,000		
その他、この法人の目的を達成するのに必要な事業収益	233,748	1,250,000	740,000	15,358,000	
5 その他収益					
受取利息	4	0		0	
経常収益計	15,587,980	22,040,000		18,458,000	
II 経常費用					
1 事業費					
(1)人件費					
給与	519,500	600,000	624,000		正社員1名分
雑給	1,200,600	1,200,000	1,250,000		非常勤2名分
法定福利費	139,858	138,000	140,000		正社員1名分
ボランティア活動費	647,000	1,350,000	290,000		
福利厚生費	6,390	120,000	10,000	2,314,000	
(2)その他経費					
外注費	3,417,270	1,550,000	4,492,000		本の入替・フリーペーパー作成など
荷造運賃	167,981	320,000	150,000		本の郵送費
広告宣伝費	73,940	130,000	690,000		広告・活動報告会など
旅費交通費	133,280	480,000	12,000		公共交通など
通信費	644,616	522,000	526,000		郵送費・電話・ネット代など
消耗品費	90,698	200,000	405,000		PC備品・文具・書棚など
水道光熱費	755,405	740,000	641,000		船橋北口・袖ヶ浦・ちばぎんざ・本町分
新聞図書費	24,158	50,000	24,000		蔵書購入費
支払手数料	2,238,142	3,528,000	2,963,000		CFライセンス・銀行手数料など
車両費	1,402,040	1,488,000	480,000		自動車使用費など
地代家賃	3,410,076	3,516,000	3,516,000		船橋北口・袖ヶ浦・ちばぎんざ・本町分
リース料	395,820	395,820	293,000		コピー機2台分
印刷消耗品費	108,601	600,000	174,000		カウンター料金・封筒・用紙・印刷代など
支払利息	360,000	360,000	360,000		長期役員借入金金利
租税公課	800	10,000	2,000		
貸倒損失	67,928	0	0		
予備費	0	202,180	270,000	14,998,000	
事業費計	15,804,103	17,500,000		17,312,000	
2 管理費					
(1)人件費					
役員報酬	1,800,000	1,800,000	2,040,000		3名分
法定福利費	268,322	276,000	276,000	2,316,000	2名分
(2)その他経費					
交際費	0	100,000	30,000		慶弔お土産代
会議費	210,898	350,000	90,000		
車両費	648,000	648,000	240,000		
諸会費	210,000	360,000	230,000		所属団体会費・参加費など
租税公課	10,000	6,000		590,000	
管理費計	3,147,220	3,540,000		2,906,000	
経常費用計	18,951,323	21,040,000		20,218,000	
当期経常増減額	(3,363,343)	1,000,000		(1,760,000)	
III 経常外収益					
消費税還付	131,172	0	130,000	130,000	
IV 経常外費用					
雑損失	168,834	0	0	0	
税引前当期正味財産増減額	(3,401,005)	1,000,000		(1,630,000)	
法人税、住民税及び事業税	133,200	150,000		70,000	
当期正味財産増減額	(3,534,205)	850,000		(1,700,000)	
前期繰越正味財産額	(16,035,664)	(19,569,869)		(19,569,869)	
次期繰越正味財産額	(19,569,869)	(18,719,869)		(21,269,869)	